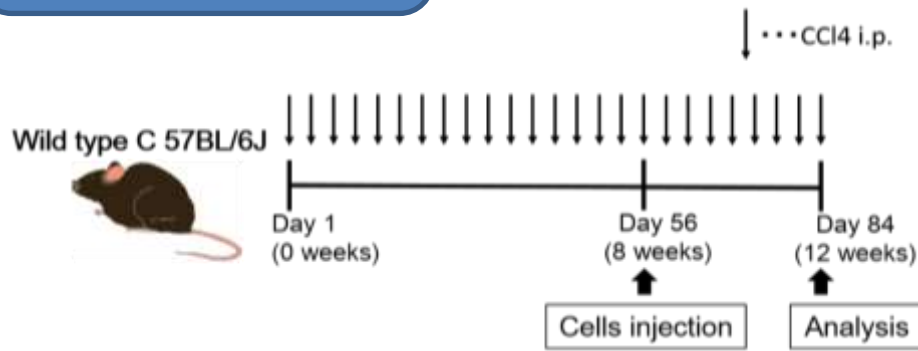
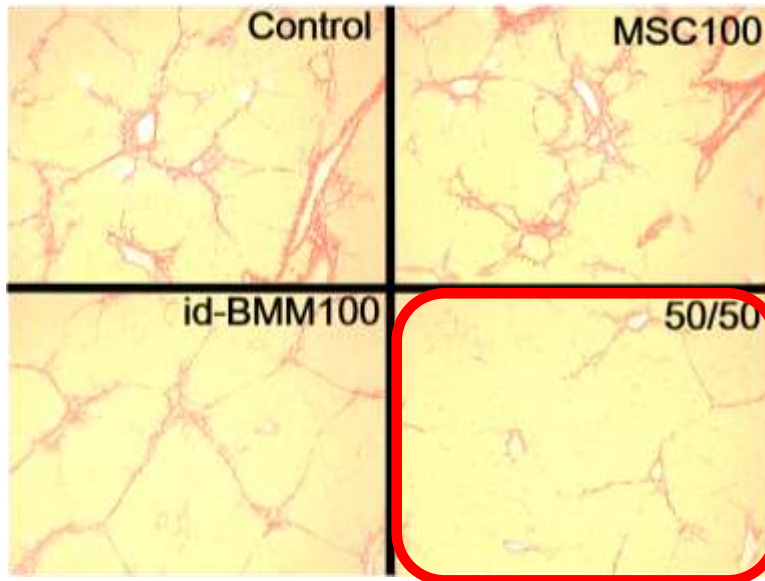


基礎研究

マウス骨髄由来の間葉系幹細胞とマクロファージの肝硬変モデルマウスに対する効果の検証



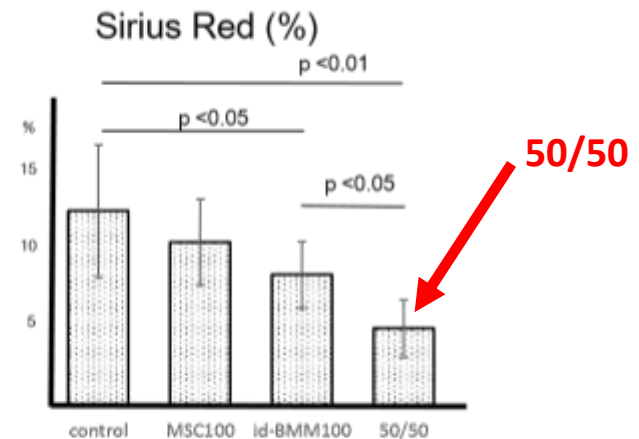
Sirius Red Staining



細胞投与

- ① Control群
- ② MSC単独 (MSC100)
- ③ id-BMM単独 (id-BMM100)
- ④ MSC+id-BMM 1:1 (50/50)

id-BMM=マクロファージ



(Mean \pm SD; Student t test; n=12 per group)

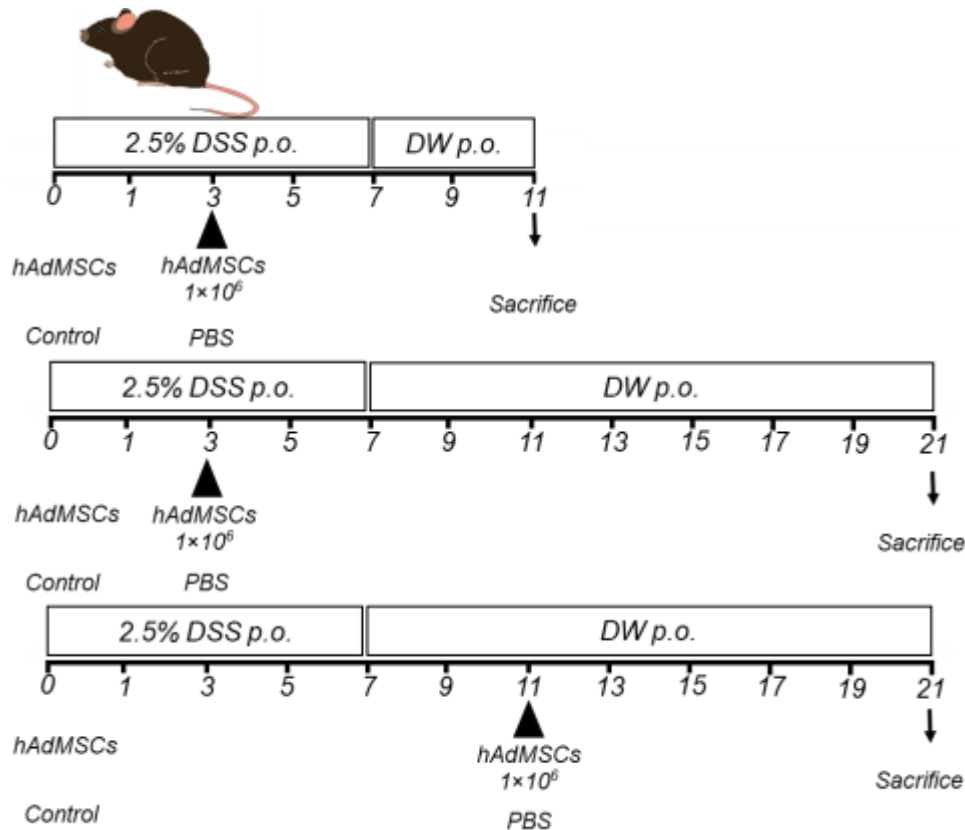
Stem Cells Transl Med. 2018 Nov 5.

マウス肝硬変モデルマウスでは骨髄由来間葉系幹細胞とマクロファージの混合を行うと効果的に線維化が改善

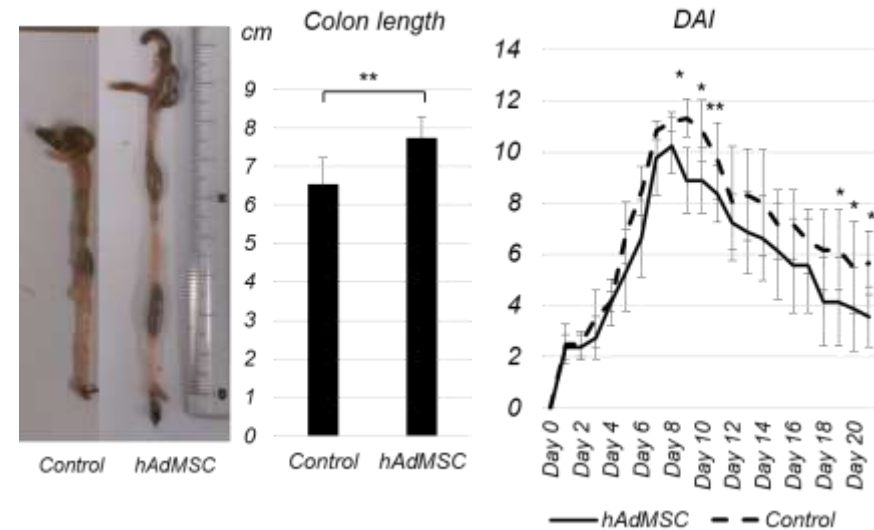
基礎研究

ヒト脂肪組織由来間葉系幹細胞のDSS腸炎モデルでの効果の検証

間葉系幹細胞は種を超えて効果検証が可能



Day 3 injection; Day 21 sacrifice

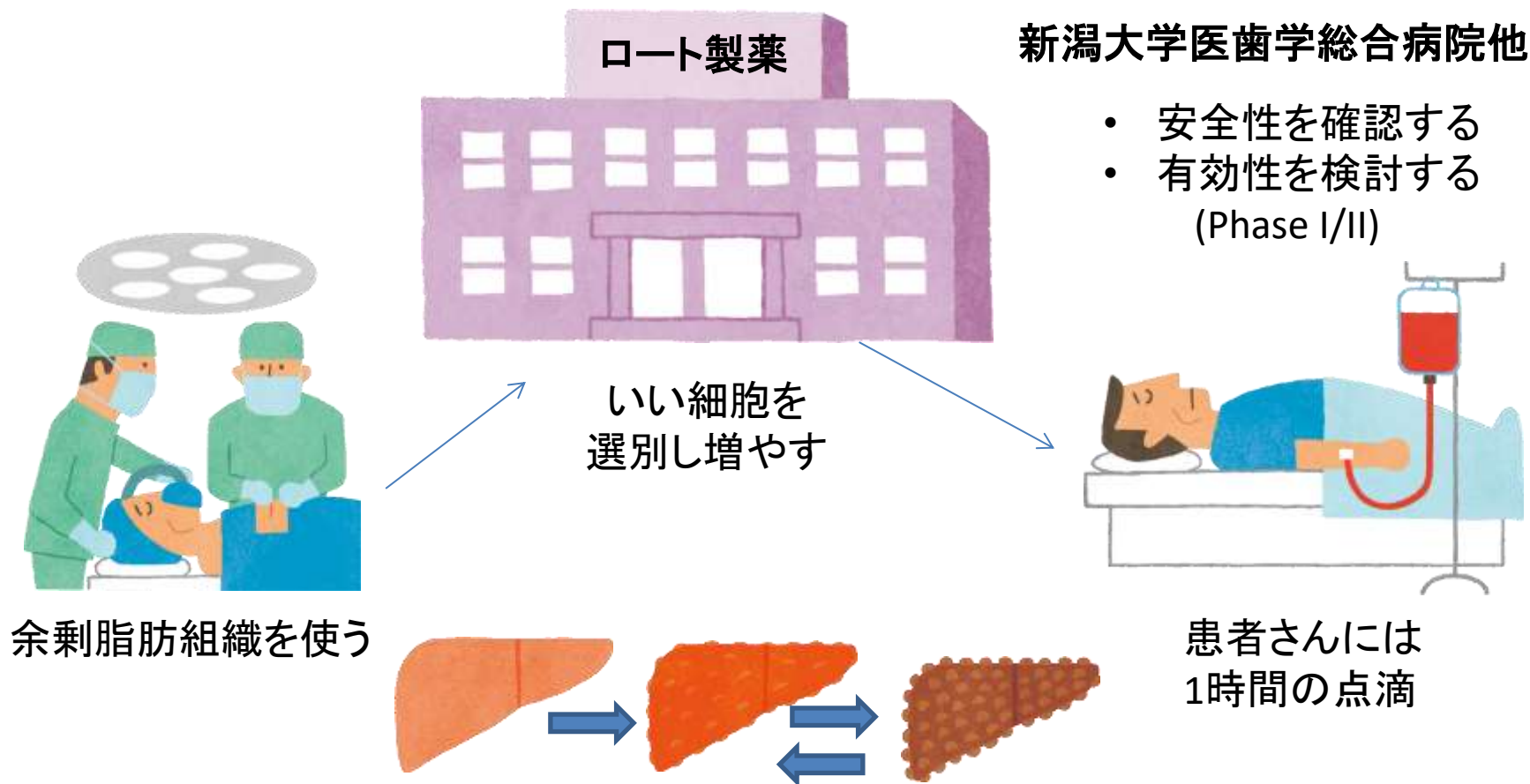


Cell Tissue Res. 2018 in press

DSS腸炎に対しヒト脂肪組織由来の間葉系幹細胞は炎症後早期に投与するとより強い治療効果を及ぼした。また、制御性T細胞や抗炎症性マクロファージの増加が見られた。

企業治験

脂肪組織由来の他家間葉系幹細胞を使った 肝硬変に対する治験 (Phase I/II)



**C型肝炎由来、NASH由来の肝硬変の患者さんで
Child-PughスコアがグレードBに相当する患者さんが対象**